



日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 173

平成23年2月7日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimuj@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

次回診療報酬改定への要望

= 22年度診療報酬改定影響調査への回答より =

昨年11月に行った22年度診療報酬改定影響調査で327名からの回答のうち次回の診療報酬改定への要望が204名より寄せられた。要望は初診料・再診料関係、検査関係、処置・手術関係など多岐に亘っているため最終的な取り纏めにはなっていないが寄せられた主な要望意見を掲載する。

1. 初診料・再診料・指導管理料等関係

* 初診料再診料のUP * アレルギー性鼻炎、めまい等への指導管理料の設定 * 地域医療貢献加算の廃止

2. 聴力検査他検査関係

* 標準純音聴力検査点数の復活 * チンパノメトリーの点数を下げる代わりに聴力検査点数のup * 内視鏡検査の点数はもう少し低くして回数の縛りをなくす * めまい検査を細かく分類、それぞれ算定出来るように * 検査を正當に評価した点数に * チンパノメトリー・ファイバーの点数が高すぎて請求しにくい

3. 処置関係

* 外来管理加算を下回っている耳鼻科処置点数の見直し * 簡単耳垢の耳処置復活 * 耳処置の片方ずつ算定を * 鼻止血処置点数up * 鼻処置・咽頭口腔処置の同時算定を * 皮膚科軟膏処置100cm未満の復活 * 耳鼻科専門処置のup * 上顎洞穿刺点数の大幅up * 耳石置換法に対する点数の新設 * 耳鼻科処置がまるめにならないように * 耳処置・鼻処置等の個々の処置点数を廃止して耳鼻咽喉科処置として包括点数に

4. 手術関係

* 鼓室形成術の点数up * 耳介血腫・ガマ腫などへのピシバニール注入療法の点数の新設

5. その他

* 長期処方が増えており、特定疾患療養管理料を算定できる主病が欲しい * 耳鼻科の特殊技術が評価されることを要望 * 時間・人的労力の必要な検査をもっと評価して欲しい * レセプト並の詳細な領収書は必要ない * 総論的に義務化しての加算項目はさけて欲しい * 休日・夜間救急診療報酬のup * 耳鼻科の平均点数が他科と同程度になるような改定を望む * まじめに正直にやって今後も開業が成り立って行くようにして欲しい * 外保連・厚労省へ耳鼻科の正確な情報を伝えて欲しい * ジェネリックを強制する処方箋様式の改定 * 消費税の損を改正 * 財源を十分に確保し開業医崩壊を生じさせないで欲しい

紙面の都合で全部の意見を掲載出来ないことをお詫びします。今後これらを更に分析整理して関係機関との交渉での資料とさせていただきます。

全ての聾学校に人工内耳装用児が在籍

全国の聾学校での人工内耳装用児について定期的に調査している愛媛大学教育学部の高橋信雄教授の調査結果によると、2010年2月のアンケート形式での結果から聾学校における人工内耳装用児在籍率は幼稚部では89.5%、小学部では85.5%で毎回増加しており、注目されるのは専攻科まで含めてほぼ全ての聾学校で人工内耳装用児が在籍していることである。以前は小学部以降は通常の学校へ行く子供が多かったが、他の障害が重複している子供もおり、教科学習について聾学校での丁寧な指導が望まれているとも考えられると教授は述べている。(教育医事新聞2010/12/25)

適応関連チェック項目追加計174項目に

電子レセで支払基金

社保支払基金は1月17日、1月審査分の電子レセプトから、医科診療報酬点数表の「医学管理等」に10項目を追加、診療行為と傷病名の適応関連をチェックす診療行為が164項目から174項目に増加したと発表した。支払基金は昨年10月審査分以降、審査の充実の一環として、診療行為と傷病名の適応関連チェック機能を電子レセプトコンピュータチェックに追加した。(J.M. 2011/1/21)

今年度集团的個別指導 件数は昨年2倍

関東甲信越厚生局東京事務所

同事務所が開示した指導計画によると、今年度の集团的個別指導は「診療科目等の累計区分ごとの1件当たりの平均点数が高い順に選定し・・・概ね8%を2回に分けて実施する」としている。実施件数は5月と10月に各々440件の計880件。昨年は平均点数の上位4%が対象だったので、その数が一気に2倍以上になった。耳鼻科の平均点数は院内処方の医療機関では2009年度789点、2010年度785点、院外処方の医療機関では2009年672点、2010年670点であった。

(東京都保険医新聞)

支払基金のレセプト審査、4月から算定ルールをコンピュータチェック

縦覧点検・突合点検も

支払基金は今年4月からのレセプト審査で、医科については電子点数表に基づき「算定ルールに対する適合性を点検」するコンピュータチェックを開始する。併せて、これまでは保険者が行っていた同一患者について3ヶ月分を縦覧する「縦覧点検」、また調剤レセプトと医科レセプトを照合する「突合点検」もコンピュータ上で実施する。東京都は4月から実施、順次全国でも行われる予定。(1/18 OnlineMed ニュース)



「継続は力 フォーラムに集い更なる団結と飛躍を」

第36回臨床家フォーラムは群馬県耳鼻咽喉科医学会(会長 森喜一先生)が担当して本年8月27日(土)・28日(日)の二日間、高崎市のホテルメトロポリタン高崎で開催される。

KYOWA KIRIN

アレルギー性疾患治療剤 (医薬品承認済)

アロック錠5^{2.5}

ALLELOCK Tablets オロバタジン塩酸塩錠

●「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等は製品添付文書をご参照ください。

製造販売元

【資料請求先】

協和発酵キリン株式会社

東京都千代田区大手町一丁目6番1号 〒100-8185

www.kksmile.com

2009年6月作成
④登録商標